

2012年度「E-ことCSRポイント制度」で寄付実施

～ 社員のCSRの取り組みを金額換算、被災地で活動するNPO団体などに寄付します ～

株式会社損害保険ジャパン（社長 櫻田謙悟、以下「損保ジャパン」）は、eラーニングで社員ひとりひとりのCSRの取り組み状況をチェックし、取り組み度合いに応じて決定した金額をNPO団体などに寄付する「E-ことCSRポイント制度」を2012年度も実施しました。今年度は15,696人の社員が自分自身のCSRへの取り組みをチェックし、総額1,287,640円を4団体に寄付することを決定しました。

1. 「E-ことCSRポイント制度」の概要

社員がeラーニングを通じて「職場でのエコ活動」、「社会貢献活動」、「家庭での取り組み」などの6つの切り口からなる10項目について、日常の行動をチェックします。損保ジャパンは、そのチェック結果をもとに社員の取り組みに応じたポイントを金額に換算し、NPO団体などに寄付します。本制度は2009年度から毎年度実施しています。

2. 2012年度の参加社員数・寄付金総額

本制度に参加した社員数・寄付金総額は以下のとおりです。

参加社員数	15,696人
寄付金総額	1,287,640円

3. 寄付先の選定

- (1) 東日本大震災の被災地で活動している、当社の本業に関わりの深い「防災」、社会貢献の重点課題である「環境」「福祉」「文化・芸術」の4分野に取り組む以下4団体を選定しました。2013年4月末までに寄付を実施する予定です。

寄付先団体

- 【福祉】 ふくしまキッズ実行委員会（福島県）
- 【環境】 特定非営利活動法人 森は海の恋人（宮城県）
- 【文化・芸術】 Wonder Art Production（東京都）
- 【防災】 特定非営利活動法人 気象キャスターネットワーク（東京都）

- (2) 今年度から、選定された4団体の中からさらに社員に2団体を選択してもらい、その結果を考慮して寄付額を割り当てる方式を採用しました。

4. 今後の展開

損保ジャパンは、寄付先団体で実施されるボランティア活動への社員の参加などを通じて、各団体との連携を深めていきます。

以上

※団体は「福祉」「環境」「文化・芸術」「防災」の4分野から選定しています。

【 福祉 】 ふくしまキッズ実行委員会(福島県)

福島第一原子力発電所事故の影響で野外活動を制限されている福島県の子どもたちを対象に林間学校を開催する「ふくしまキッズ」を実施しています。寄付は、夏休みのプロジェクトに活用される予定です。

(<http://fukushima-kids.org/>)



【 環境 】 特定非営利活動法人 森は海の恋人(宮城県)

『自然の「環」から、人の「和」を育てよう!』をキャッチフレーズに、宮城県気仙沼市で環境教育・森づくり・自然環境保全の3分野で活動しています。寄付は、植樹活動や環境教育などの運営資金として活用される予定です。

(<http://www.mori-umi.org/>)



【 文化・芸術 】 Wonder Art Production (東京都、被災地でも活動を実施)

全国の小児病院などで「アート」を通じた心の回復をサポートしてます。寄付は、被災地の仮設住宅、学校、病院などで開催している「ARTS for HOPE」に活用される予定です。

(<http://artsforhope.info/>)



【 防災 】 特定非営利活動法人 気象キャスターネットワーク (東京都、被災地でも活動を実施)

環境・気象教育や防災知識の普及、啓発を行い、防災上重要な役割を果たす気象キャスターを育成しています。寄付は、被災地の子どもたちを対象とした環境・気象に関する出前授業やお天気イベントなどに活用される予定です。

(<http://www.weathercaster.jp/>)

